

令和7年度

長崎大学大学院総合生産科学研究科  
博士前期課程 総合生産科学専攻

学生募集要項

令和7年10月入学

外国人留学生入試

**【春期募集】**

令和7年3月

長崎大学大学院総合生産科学研究科

〒852-8521 長崎市文教町1番14号

TEL (095) 819-2491 (直通)

FAX (095) 819-2716

# 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻 アドミッションポリシー

## 教育理念・目標

総合生産科学研究科総合生産科学専攻では、地球温暖化やエネルギー・食糧・水資源の枯渇化等の地球と人間が相互に関連する諸問題に対して、工学・化学・水産学・環境科学・情報データ科学等の技術と英知を結集し、学問領域を超えて俯瞰的視野で取り組む人材を育成する。長崎大学が目標として掲げる「プラネタリーヘルス（地球の健康）の実現」に向けて、海洋科学技術、水環境技術推進、国土強靱化・減災と環境との共生、水産資源の活用等に関わる研究をIoTやデータサイエンスと共に推進し、持続可能な社会構築に貢献する。脱炭素社会の実現に向け、次世代エネルギー・資源や新機能性物質創製等の最先端科学技術を創出すると共に、グローバルな危機的環境課題を解決できる研究者・技術者・高度専門職業人を養成する。

## 総合生産科学研究科博士前期課程アドミッションポリシー

総合生産科学研究科では、入学者に以下の学力・能力、資質・素養を求めます。

- (1) 工学、水産学、環境科学又は情報データ科学のいずれかにおいて高い基礎学力がある。
- (2) 自然と共生する技術社会の発展に貢献する意思がある。
- (3) 地球温暖化やエネルギー・食糧・水資源の枯渇化、健康・医療問題等の地球と人間が相互に関連する諸問題に対して関心があり、工学・化学・水産学・環境科学・情報データ科学の技術と英知を結集し、俯瞰的視野で諸問題の解決に取り組む意欲がある。
- (4) 海洋科学技術、水環境技術、国土強靱化・減災と環境との共生、水産資源、機能物質創製、IoTやデータサイエンスに関わる研究を推進することで、持続可能な社会構築に貢献する意思がある。

選抜方法に関する別表（求める素質等の評価方法とその比重（特に大きい比重：◎ 大きい比重：○））

入試区分		求める資質等	高い基礎学力	意欲・積極性 ・分野（コース） の適性	グローバル展開 力	プレゼンテー ション能力・コ ミュニケーショ ン能力
一般入試 ・共生システム科学コース ・海洋未来科学コース	英語				◎	
	専門科目		◎			
	面接		○	◎		◎
一般入試 ・水環境科学コース	英語				◎	
	小論文・口述試験		◎	○		○
	面接		○	◎		◎
推薦入試	成績証明書		◎		○	
	面接		○	◎	○	◎
外国人留学生入試 ・共生システム科学コース ・海洋未来科学コース	小論文 ・共生システム科学コース（水産生物資源分野） ・海洋未来科学コース（水産系）		◎			
	口述試験 ・上記分野、系以外		◎	○		○
	面接			◎	○	◎
外国人留学生入試 ・水環境科学コース	英語				◎	
	小論文・口述試験		◎	○		○
	面接		○	◎		◎
社会人入試	口述試験		◎	○	○	○
	面接		○	◎	○	◎

## 1. 募集人員

専攻	コース(分野)	募集人員
総合生産科学専攻	共生システム科学コース(水産生物資源分野)	1人
	海洋未来科学コース(水産系)	
	共生システム科学コース(環境レジリエンス分野(工学系))	1人

## 2. 出願資格

日本国籍を有しない者(日本国永住許可を得ている者を除く。)で次のいずれかに該当する者

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年9月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和7年9月までに修了見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和7年9月までに修了見込みの者
- (4) 外国の大学その他の外国の学校(その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。)において、修業年限が3年以上である課程を修了すること(当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び令和7年9月までに学士の学位に相当する学位を授与される見込みの者
- (5) 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年9月30日までに22歳に達するもの(「3. 出願資格審査」参照)

## 3. 出願資格審査

- (1) 出願資格(5)で出願する者については、事前に出願資格を審査する必要があるため、以下の書類を期日までに、長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係へ提出すること。

共生システム科学コース(環境レジリエンス分野) : 令和7年3月21日(金)

共生システム科学コース(水産生物資源分野) : 令和7年4月15日(火)

海洋未来科学コース(水産系) : 令和7年4月15日(火)

提出書類	備考
卒業(見込)証明書	出身(所属)学校が作成したもの(卒業証書の写しは不可)。
成績証明書/成績評価基準表	出身(所属)学校が作成したもの。成績評価基準の記載が無いものは、別途成績評価基準が掲載された書類も、必ず提出すること
事前審査申請書	本研究科所定の様式
入学願書	本研究科所定の様式
研究歴証明書	本研究科所定の様式に、機関の長が証明したもの
研究内容要旨	本研究科所定の様式
出願資格審査結果返送用封筒 〔長形3号(12cm×23.5cm)〕	郵便番号、住所、氏名を明記し、410円分の切手(速達)を貼付したもの
在留資格を証明するもの(写し) (外国人志願者のみ)	パスポートの氏名の頁の写しを提出してください。 すでに来日している場合は、在留カードまたはパスポートの査証欄の写しも提出すること。合格後に来日する場合は、来日時に提出すること
その他	日本語または英語以外の言語で記載されている書類には、日本語または英語の翻訳文を添付すること。

※本研究科所定の様式は、長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。

ホームページ (<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou>)

- (2) 出願資格の審査結果については、募集期間開始前までに本人宛に発送する。なお、出願資格有と認定された者は、「4. 出願期間」及び「5. 出願手続」により手続を行うこと。

#### 4. 出願期間

共生システム科学コース(環境レジリエンス分野)：令和7年4月14日(月)～令和7年4月18日(金)

共生システム科学コース(水産生物資源分野)：令和7年5月12日(月)～令和7年5月16日(金)

海洋未来科学コース(水産系)：令和7年5月12日(月)～令和7年5月16日(金)

(1) 申請書類は電子データを事前に下記メールアドレスに送付した上で、原本(紙ベース)を、期限までに到着するように提出のこと。ただし、出願書類の電子データを期限までに送信している場合は、原本が期限内に到着していなくても、出願は有効と見做す。書類確認のための事前のメール送信は、出願期間前でも受け付ける。ただし、入学試験の受験資格を得るためには電子データのみでは不十分であり、必ず紙ベースで原本を提出すること。

【メールアドレス】 seisan\_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp

【郵送先】 〒852-8521 長崎市文教町1番14号

長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係

- (2) 出願書類等を持参する場合は、9:00から17:00まで受け付ける。

#### 5. 出願手続

志願者は、以下の手続書類等を、所定の期日までに提出すること。

教育・研究を担当するいずれかの教員に対し、出願前に直接連絡を取った上で、入学後の研究室への配属ならびに指導を受けることを当該教員から認めてもらうこと。

手続書類等	備考
入学願書 (本研究科所定の様式)	出願資格審査時に提出した者は不要。 指導を受けることを認めてもらった指導予定教員名を記入すること。
写真票・受験票・ 検定料納付証明書貼付票 (本研究科所定の様式)	
卒業見込証明書又は 卒業証明書/学位授与証明書 (日本語又は英語の証明書)	出身(所属)学校が作成したもの。卒業証書の写しは不可。 なお、出願資格(4)に該当する者で、当該証明書に学士の学位に相当する学位を授与されたことが記載されていない場合は、別途、学位授与証明書を提出すること。 (出願資格審査時に提出した場合は不要)
成績証明書/成績評価基準表 (日本語又は英語の証明書)	出身(所属)学校が作成したもの。(出願資格審査時に提出した者は不要) 成績評価基準表が掲載されていない場合、大学が発行している単位認定の記載が無いものは、別途、成績評価基準が掲載された書類も、必ず提出すること。
指導予定教員からの受入内諾 を証明するもの	指導予定教員が受け入れを認めたことがわかる書類(メール等の写し)
志望理由書 (本研究科所定の様式)	・共生システム科学コース水産生物資源分野および海洋未来科学コース(水産系)志願者は、必要事項を記入し提出すること。
検定料(30,000円)	《 振込期間 》 共生システム科学コース(環境レジリエンス分野)：令和7年4月7日(月)～4月18日(金) 共生システム科学コース(水産生物資源分野)：令和7年5月2日(金)～5月16日(金) 海洋未来科学コース(水産系)：令和7年5月2日(金)～5月16日(金) 《 振込方法 》 E-支払いサイト( <a href="https://e-shiharai.net/">https://e-shiharai.net/</a> ) (英語版 <a href="https://e-shiharai.net/ecard/">https://e-shiharai.net/ecard/</a> ) にアクセスのうえ、①コンビニエンスストア ②ペイジー(金融機関ATM決済) ③ペイジー(ネットバンク決済)・ネットバンキング ④クレジットカード のいずれかで支払うこと。(振込時に別途必要な振込手数料は振込者の負担となる。振込手数料は支払方法で違う)

	<p>ので申込画面で確認のこと)</p> <p>※ E-支払いサービス (英語版) では、④クレジットカード払いのみ選択できる。</p> <p>《 支払い別の貼付書類について》</p> <p>E-支払サービスで選択した支払方法毎に、次の書類を検定料納付証明書貼付票に貼付すること。</p> <p>①コンビニエンスストア支払の場合 支払い後、コンビニエンスストアで受領した「取扱明細書 (取扱明細書兼受領書)」の点線枠の「<u>収納証明書</u>」部分を切り取り貼付して提出</p> <p>②ペイジー (金融機関ATM決済) 支払の場合 支払後、出力される「ご利用明細票」を貼付して提出</p> <p>③ペイジー (ネットバンク決済) ・ネットバンキング および</p> <p>④クレジットカードの場合 支払後、E-支払いサイトにアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、「照会結果」を印刷し所定の様式に添えて提出</p> <p>※ E-支払いサービスにおける手順等に関する質問は、同サービス「利用ガイド」や「よくある質問」を確認し、不明な点があればE-サービスサポートセンターへ問い合わせること。</p> <p>※ 上記いずれの方法も利用できない場合は、管理運営部経理調査課資金管理班 (電話: 095-819-2060/email: sikin@ml.nagasaki-u.ac.jp) まで問い合わせること。</p> <p>(注意) E-支払いサービスでは、支払い後のキャンセルはできない。クレジットカードで支払った場合は、申し込み完了と同時に支払いが完了する。</p> <p>《 出願に際しての留意事項 》</p> <p>検定料が振り込まれていない場合、支払いを証明する収納証明書やご利用明細票等が貼付または添えられていない場合は出願を受理しない。</p> <p>既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しない。</p> <p>検定料を振り込んだが長崎大学に出願しなかった (出願書類を提出しなかった又は出願が受理されなかった) 場合又は検定料を誤って二重に振り込んだ場合には、振り込んだ者の申し出により、当該検定料相当額は返還する。返還にかかる手数料は、原則、入学志願者本人の負担とする。</p> <p>なお、返還の申し出は、出願期間の最終日から14日以内とする。</p> <p>※日本政府 (文部科学省) 国費外国人留学生は不要である。</p>
住所登録 (受験票などの送付に使用)	<p>「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「募集要項」のフォームから、入力すること。(書類の提出は不要)</p> <p>入力受付期間: 上記検定料振込期間と同じ</p>
在留資格を証明するもの (写) (外国人志願者のみ)	<p>パスポートの氏名の頁の写しを提出してください。</p> <p>すでに来日している場合は、在留カードまたはパスポートの査証欄の写しも提出すること。合格後に来日する場合は、来日時に提出すること</p>
受験票返送用封筒 (日本在住者のみ)	<p>志願者の住所、氏名及び郵便番号を明記し、「受験票返送」と朱書きの上、410円分の切手 (速達) を貼付したもの。(長形3号 [12cm×23.5cm])</p>
その他	<p>日本語または英語以外の言語で記載されている書類には、日本語または英語の翻訳文を添付すること。すでに出願資格審査で提出した書類は再度提出する必要はありません。</p>

※本研究科所定の様式は、長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページからダウンロードすること。  
ホームページ (<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/boshuyoukou>)

## 6. 出願に関する注意事項

- (1) 出願手続後の提出書類の内容変更は原則認めない。
- (2) 受理した出願書類は、返還しない。
- (3) 入学試験についての問い合わせは、メールもしくは郵便により行うこと。郵便で照会する場合は、返信先を明記し、所要の切手を貼った返信用封筒を必ず同封すること。なお、電話による問い合わせには応じない。(メールアドレス: [seisan\\_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp](mailto:seisan_daigakuin@ml.nagasaki-u.ac.jp))

## 7. 選抜方法

面接、口述試験もしくは小論文の成績により、入学者を選抜する。

面接及び口述試験は、受験者の希望に応じて、日本語もしくは英語を用いて行う。どちらで行うかは受験票発送時に通知する。

(1) 試験日時

共生システム科学コース(環境レジリエンス分野(工学系)) : 令和7年5月15日(木)  
共生システム科学コース(水産生物資源分野) : 令和7年6月24日(火)  
海洋未来科学コース(水産系) : 令和7年6月24日(火)

(2) 学力検査等の配点

コース(分野・系)	面接	小論文	口述試験	配点合計
共生システム科学コース(水産生物資源分野) 海洋未来科学コース(水産系)	10	90	—	100
共生システム科学コース(環境レジリエンス分野(工学系))	30	—	70	100

(3) 合否判定基準

学力検査等の得点の高い順により、総合的に判断し、合格者を決定する。

ただし、面接試験の結果が著しく低い場合には、不合格とすることがある。

なお、面接及び口述試験は、次の方法で評価する。

【面接の評価方法】

コース(分野・系)で複数の面接員による個人面接形式で行い、出願書類を参考にして、志望動機、勉学意欲、修学状況及び社会性を総合的に評価する。

更に、共生システム科学コース(水産生物資源分野)及び海洋未来科学コース(水産系)では、現在の研究内容や合格後の希望研究内容の説明に対して試問を行い、基礎学力、専門知識等の能力についても評価する。

【口述試験の評価方法】

基礎学力、専門知識及び日本語能力等について総合的に評価する。

コース(分野)	基礎学力、専門知識及び日本語能力等の評価内容
共生システム科学コース (環境レジリエンス分野(工学系))	基礎学力については数学と英語を、専門知識については出願時に選択する構造力学、地盤力学、水理学、都市計画学のうちいずれか1科目の能力を評価する。日本語の能力も問う。

(4) 試験場

長崎大学工学部、環境科学部、水産学部  
〒852-8521 長崎市文教町1番14号

(5) インターネットを利用した入試

日本国外在住者については、インターネットを利用した入試を実施する場合がある。希望する場合は、予め、指導予定教員へ相談し、打合せを行うこと。

## 8. 受験上の注意事項

- (1) 試験前日の午後、工学部1号館ピロティ、環境科学部正面玄関または水産学部正面玄関に「試験当日の集合場所を掲示するので、試験室(集合場所)を確認すること。(ただし、入室はできない。)
- (2) 受験者は、本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (3) 試験当日、所定の試験室(集合場所)は試験開始時刻30分前に解錠する。志願者は、試験開始20分前までに入室すること。共生システム科学コース(水産生物資源分野)及び海洋未来科学コース(水産系)は10分前までに入室のこと。(試験開始後の遅刻者は受験を認めない。)
- (4) 携帯電話等は、試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (5) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は、試験日を延期することがある。
- (6) 原則として追試験は実施しないが、不測の事態が生じた場合、再試験を実施することがある。

## 9. 合格者発表

共生システム科学コース（環境レジリエンス分野）

令和7年6月18日（水） 10:00

共生システム科学コース（水産生物資源分野）

海洋未来科学コース（水産系）

令和7年7月16日（水） 10:00

※ 日本時間の午前10:00以降、長崎大学大学院総合生産科学研究科ホームページに合格者を掲載するとともに、合格者に対し合格通知書を発送する。

「総合生産科学研究科ホームページ」→「入試情報」→「合格発表」

（アドレス：<https://www.ist.nagasaki-u.ac.jp/graduate/goukaku>）

※ 電話による可否の問い合わせには一切応じない。

## 10. 入学手続等

合格した者は、次により入学手続を行うこと。入学手続書類は、合格通知書に同封する。

### (1) 手続期間

令和7年8月27日（水）～令和7年9月1日（月）（ただし、土日祝日除く）

### (2) 納付金の納入

・入学料・・・・・・282,000円

（注）既納の入学料は返還しない。

〔参考〕

① 令和7年度授業料（年額）：535,800円（前期分267,900円、後期分267,900円）

② 授業料の納入時期は、前期分4月、後期分10月になる。

③ 在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用される。

④ 入学料及び授業料については、免除又は徴収猶予の制度がある。（詳細は、入学手続関係書類に同封する。）

⑤ 合格者のうち、日本政府（文部科学省）国費外国人留学生は、入学料及び授業料は不要である。

## 11. 個人情報の取扱

(1) 出願書類により取得された個人情報は、入学者選抜業務のために利用する。また、合格者の個人情報は入学手続案内業務のため、入学者の個人情報は、学籍登録業務のために利用する。

(2) 入学試験の成績及びその他の個人情報は、入学料免除及び授業料免除並びに各種奨学金の選考資料並びに教務関係業務に利用する。

(3) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

(4) 出願書類により取得された個人情報及び入学試験により取得された個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」に規定されている場合を除き、以上の目的以外で利用すること又は第三者に提供することはない。



## 12. 障がい等のある入学志願者との事前相談

障がい等のある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和7年3月28日（金）までに、下記の内容を記載した申請書（様式は任意）に医師の診断書を添え、長崎大学総合生産科学域事務部学務課大学院係と相談すること。

なお、入学者選抜において事前相談の内容によって受験者が不利益を被ることはない。

また、必要な場合は、本研究科において志願者又はその立場を代弁し得る出身大学関係者等との面談等を行うこともある。

また、事前に相談がない場合は配慮が認められないこともある。

○ 申請書の記載内容

- (1) 入試の区分，志望コース(分野・系)
- (2) 障がいの種類・程度
- (3) 受験上の配慮を希望する事項
- (4) 修学上の配慮を希望する事項
- (5) 出身大学等でとられていた配慮
- (6) 日常生活の状態
- (7) 志願者の郵便番号・住所・氏名・連絡先電話番号（FAX 番号）

☆本学では、長崎大学障がい学生支援室を設置して、障がい等のある学生及び障がい等のある入学志願者への支援を行っている。

## 13. 安全保障輸出管理について

本学は、外国人留学生等への教育・研究内容が国際的な平和及び安全の維持を阻害することが無いよう、「外国為替及び外国貿易法」に基づく安全保障輸出管理を行っている。それにより、希望する教育・研究内容の変更を求める場合があるので留意すること。

なお、詳細については各コース等へ問い合わせること。

総合生産科学研究科博士前期課程 教員一覧

欄外に「\*」のある教員は、他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため、他のコース・分野のページも確認し、志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野	担当教員	研究題目・研究テーマ等	
共生システム科学コース 水産生物資源分野	松下 吉樹	1. 水産資源の持続的利用のための漁業技術, 採集技術に関する研究	
	清水 健一	1. 航海計器の適切な運用に関する研究 2. 船内労働衛生環境に関する研究	
	滝川 哲太郎	1. 海水や大気の流れ, 海の流れや水温の変化などの物理現象 2. 海洋物理環境と生態系の関係	
	広瀬 美由紀	1. 計量魚群探知機を用いた魚類や動物プランクトンの資源量推定に関する研究 2. 水中音響機器を用いた海洋生物のモニタリングに関する研究	
	八木 光晴	1. 船舶の運用に関する研究 2. 海洋ゴミと水産生物に関する研究	
	田中 雄大	海洋の熱, 塩分, 栄養塩等の分布, 変動, 輸送に関する水産海洋学的研究	
	河邊 玲	1. バイオロギングを用いた高次捕食魚類の回遊行動に関する研究 2. 環境変動・洋上風力発電施設の導入に対する海産魚類の行動応答に関する研究 3. 魚類の遊泳行動の調節に関する研究	*
	ニシハラ・ゲレゴリー・ナキ	1. 藻類生態系の代謝に関する研究 2. 藻類生態系保全と回復に関する研究	*
	平坂 勝也	1. 水産物由来機能性栄養素に関する研究	*
	長阪 玲子	1. 魚類の代謝制御による養殖に関する研究 2. 生物の嗜好性に関する研究 3. 魚類の寿命決定因子の解明	*
	鈴木 利一	1. 浮遊生物の生態学的研究 2. 海洋の食物連鎖に関する研究	
	天野 雅男	1. 海棲哺乳類の生態, 系統分類に関する研究	
	阪倉 良孝	1. 海産魚の種苗生産に関する研究 2. 海産魚の初期生態に関する研究	
	山口 敦子	1. 魚類の分類・初期生態・成長・繁殖・食性・行動・分布および回遊に関する研究 2. 海洋生態系の構造と機能および海域環境の保全に関わる研究	
	和田 実	1. 水圏微生物のモニタリングに関する研究 2. 水圏の動植物と微生物の相互作用に関する研究 3. 沿岸や流域における人と生態系の関わりから健康を考えるエコヘルス研究	
	竹垣 毅	1. 進化生態学に基づく水棲生物(特に魚類)の行動・繁殖生態および生活史戦略に関する研究 2. 環境変動に伴う魚類群集構造の変化に関する研究 3. 魚類の資源生物学的・保全生態学的研究	
	河端 雄毅	1. 魚類の行動・分布・生残を決定する内的・外的要因に関する研究 2. 魚類の捕食・逃避時の運動メカニクスに関する研究	
	近藤 能子	1. 海洋における金属元素含めた微量栄養物質の循環に関する研究	
	竹内 清治	1. 海洋底生動物の個体群・群集動態に関する研究 2. 水産資源, 特に貝類の保全に関する研究	
	中村 乙水	1. 魚類の行動的・生理的環境適応に関する研究 2. 魚類の採餌生態に関する研究	*
	長富 潔	1. 海洋生物由来の機能タンパクの構造・機能及び遺伝子クローニング 2. 魚類抗酸化酵素の構造・機能及び病態生化学研究	
	桑野 和可	1. 磯焼けの原因に関する研究 2. 海藻の成長, 成熟に関する研究	
	サトウ・ゲレン	1. 海産付着動物(特に二枚貝類)の付着・変態機構に関する研究 2. 汚損生物の付着防止対策研究	
	菅 向志郎	1. 養殖魚介類の疾病に関する研究	
	山口 健一	1. 水生生物のタンパク質合成系に関する研究 2. 海洋起源の機能性高分子物質に関する研究	
	吉田 朝美	1. 遺伝子クローニング・翻訳後修飾解析を含めた海洋生物由来機能タンパク質の構造及び生理機能の解明 2. 食品科学的観点からの魚類筋肉タンパク質分解機構に関する研究	
金 禧珍	1. 底生生物幼生の行動制御に関する研究 2. 環境問題が海産微小生物に及ぼす影響に関する研究		
小山 喬	1. 水生生物を用いた遺伝育種に関する研究 2. 水生生物の耐病性育種に関する研究		
上野 幹憲	1. 海洋生物由来生理活性物質に関する研究 2. 海産魚培養細胞に関する研究		

総合生産科学研究科博士前期課程 教員一覧

欄外に「\*」のある教員は、他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため、他のコース・分野のページも確認し、志願するコース・分野・系を選択すること。

コース・分野	担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース 水産生物資源分野	韓 程燕	1. 動物プランクトンの生物機能解明 2. 仔魚飼育用餌料生物および環境リスク評価用試験生物としての応用
	征矢野 清	1. 魚類の性成熟に関する生理学的・内分泌学的研究 2. 魚類の生殖と環境
	村田 良介	1. 海洋温暖化が海産生物に及ぼす影響に関する研究 2. イカ類の生殖生理生態に関する研究
	荒川 修	1. 食中毒に関連した自然毒の分布と動態に関する研究 2. 未利用水産資源の有効利用に関する研究
	高谷 智裕	1. 微細藻類の毒産生に関する研究 2. 魚介毒の同定及び性状解明
	井上 徹志	1. 魚介類の腸内共生微生物の研究 2. 微生物の有効利用に関する研究
	谷山 茂人	1. 水産物の食品栄養学的研究
	濱田 友貴	1. 魚介類アレルギーに関する研究 2. 魚介類を利用した水産加工食品の開発
	山田 明德	1. 微生物の遺伝子・ゲノムに関する分子生物学的およびゲノム科学的研究 2. 魚介類や食品に関連する微生物の多様性・機能・利用法に関する研究
	王 曜	1. 水産食品の食品科学的研究
	竹下 哲史	1. 海洋生物由来蛋白質の構造と機能に関する研究

\*

\*

総合生産科学研究科博士前期課程 教員一覧

欄外に「\*」のある教員は、他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため、他のコース・分野のページも確認し、志願するコース・分野・系を選択すること。

コース ・分野	担当教員	研究題目・研究テーマ等
共生システム科学コース 環境レジリエンス分野（工学系）	板山 朋聡	生態工学技術とアクアインフォマティクスの発展途上国への応用
	大嶺 聖	地盤の高度利用技術と地盤環境工学に関する研究
	奥松 俊博	橋梁構造物など社会資本維持管理に対応した計測技術の開発
	源城 かほり	建物の環境性能とバイオフィリックデザインに関する研究
	蔣 宇静	地盤防災と岩盤構造物の維持管理に関する研究
	中村 聖三	鋼構造物の設計および維持管理手法の合理化・高度化
	安武 敦子	住環境のデザインおよびマネジメント手法に関する研究
	石橋 知也	景観デザインおよび地域計画にかかわる実践的研究
	佐々木 謙二	コンクリート構造物の高品質化・生産性向上に向けた材料・施工性能評価手法の高度化に関する研究
	杉本 知史	地盤構造物に関わる各種モニタリングと分析・力学的評価手法の開発
	鈴木 誠二	生態系を含めた水域の物質循環特性の解明および水環境管理保全手法の開発
	瀬戸 心太	人工衛星を用いた降水観測，防災への応用
	西川 貴文	社会基盤構造物のセンシング・モニタリング技術の高度化
	山口 浩平	高品質なインフラ構造物の維持修繕技術の開発とその社会実装に向けた診断技術の開発に関する研究
吉川 沙耶花	気候変動や土地利用変化による水文・環境への影響評価	
田中 亘	氾濫原における洪水攪乱と陸水生態系の関係解明	

総合生産科学研究科博士前期課程 教員一覧

欄外に「\*」のある教員は、他のコース・分野の教員一覧にも記載があるため、他のコース・分野のページも確認し、志願するコース・分野・系を選択すること。

コース	担当教員	研究題目・研究テーマ等	
海洋 未来 科学 コース	征矢野 清	1. 魚類の性成熟に関する生理学的・内分泌学的研究 2. 魚類の生殖と環境	*
	河邊 玲	1. バイオロギングを用いた高次捕食魚類の回遊行動に関する研究 2. 環境変動・洋上風力発電施設の導入に対する海産魚類の行動応答に関する研究 3. 魚類の遊泳行動の調節に関する研究	*
	ニシハラ・グレゴリー・ナキ	1. 藻類生態系の代謝に関する研究 2. 藻類生態系保全と回復に関する研究	*
	平坂 勝也	1. 水産物由来機能性栄養素に関する研究	*
	長阪 玲子	1. 魚類の代謝制御による養殖に関する研究 2. 生物の嗜好性に関する研究 3. 魚類の寿命決定因子の解明	*
	中村 乙水	1. 魚類の行動的・生理的環境適応に関する研究 2. 魚類の採餌生態に関する研究	*
	村田 良介	1. 海洋温暖化が海産生物に及ぼす影響に関する研究 2. イカ類の生殖生理生態に関する研究	*

令和7年10月入学  
October, 2025 Enrollment  
長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程  
Master's Degree, Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University  
入学願書〔外国人留学生入試〕  
Application Form〔Examination for International Students〕

		受験番号 Admission No.	※
長崎大学 長殿 To the President of Nagasaki University		年 (Year)	月 (Month) 日 (Day)
貴大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程に入学したいので、所定の書類及び検定料を添え出願します。 I wish to enroll for the Master's Degree, Graduate School of Integrated Science and Technology, Nagasaki University and hereby enclose the prescribed documents and Entrance Examination Fee.			
ふりがな			
氏名 (Name)		性別 (Sex) : 男 (Male) ・ 女 (Female)	
生年月日 (Date of Birth) :		年 (Year)	月 (Month) 日 (Day) 生
志望コース Applying Program/Field etc.  * 志望するコース・分野 に○を付けること。 * Circle the relevant box	共生システム科学コース 水産生物資源分野 Program for Symbiotic Science and Technology/Field of Fisheries Resources		
	海洋未来科学コース 水産系 Program for Frontiers of Marine Science/Fisheries Track		
	共生システム科学コース 環境レジリエンス分野 (工学系) Program for Symbiotic Science and Technology/ Field of Environmental Resilience/Engineering Track  Choose one expertise subject from below by encircling it. 以下の専門科目の中から1つ選び、それを○で囲むこと。 専門科目 Expertise:  構造力学 ・ 地盤力学 ・ 水理学 ・ 都市計画学  Structural mechanics / Soil mechanics / Hydraulics / Urban planning		
面接及び口述試験 Interviews and oral examinations	面接・口述試験で使用される言語を以下の中から一つ選び、○で囲んでください。(日本語/英語) Choose one language used in the interviews and oral examinations from below by encircling it.  Japanese ・ English		
国籍 Nationality (日本人は斜線)		指導を希望する教員 Prospective Supervisor	
出願資格 (Eligibility for Application)	該当する番号を○で囲んでください。 Please encircle the applicable number with ○. (1) ・ (2) ・ (3) ・ (4) ・ (5)		
現住所 Current Address	〒 (Postal Code):  TEL ( ) -		
最終学歴 (出身校・学部名) Name of Highest Previous or Current Institution /Department	教育機関名 Institution Name : 大学 University, 他 Others (e.g. 高専 Technical College, 専攻科 Specialized Course)  学部 Department :  卒業・卒業見込・退学予定 (飛び入学) 年月 Graduation Date / Expected Graduation Date: 年 月 年 (Year) 月 (Month)		

記入上の注意 1. ※欄は記入しないこと。

Notes: Do not fill in the box marked with an asterisk (\*).

2. 氏名は、戸籍又は在留カードのとおり記入すること。 Provide your name as it appears on your passport or residence card.

履 歴 事 項 Personal Records								
学 歴 Educational Background	学 校 名 Name of the educational institutions	修学年限 Term of Study	入学・卒業年月 Date of Enrollment / Graduation			休学の有無(有・無) Experience of Leave of Absence (Yes/No)	資 格 (学位) Qualification (Degree)	
		年 Year(s)	入学・ Enrollment	年 Year	月 Month	(有・無) (Yes/No)		
			卒業・ Graduation	年 Year	月 Month	年 月 Year Month		
		年 Year(s)	入学・ Enrollment	年 Year	月 Month	(有・無) (Yes/No)		
			卒業・ Graduation	年 Year	月 Month	年 月 Year Month		
		年 Year(s)	入学・ Enrollment	年 Year	月 Month	(有・無) (Yes/No)		
			卒業・ Graduation	年 Year	月 Month	年 月 Year Month		
職 歴 Employment History	勤 務 先 (職名) Place of Employment (Job Title)	勤 務 期 間 Period of Employment						
		年 Year(s)	From	年 Year	月 Month	～ To	年 Year	月 Month
		年 Year(s)	From	年 Year	月 Month	～ To	年 Year	月 Month
表彰 Awards	事 項 Details			年 Year			月 Month	
罰事項 Convictions (If any)								
<p>上記のとおり相違ありません。 I hereby declare that the information I provide above is truthful and correct.</p> <p>年 (Year) 月 (Month) 日 (Day)</p> <p>氏 名 (自署) Name (Signature) _____</p>								

記入上の注意 NOTES :

1. 学歴は高等学校から記入すること。ただし、外国人留学生は小学校入学から記入すること。  
Please provide the details of your entire educational background, including elementary school.
2. 履歴事項欄の職歴、賞罰のないものは、「なし」と記入すること。  
Please write "N/A" if you have no history of employment, awards or convictions.
3. 入学後、履歴中に虚偽の記載事項が発見された場合には、入学を取り消すことがある。  
The university reserves the right to terminate the enrollment in the event of discovering any false information in this document.

令和7年10月入学 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程入学試験

写 真 票 [外国人留学生入試 (春期募集)]

受験番号	※
氏 名	
志 望 専 攻	総合生産科学専攻
志 望 コース・分野	
【環境レジリエンス 分野 (工学系) のみ】 専門知識 (1科目選択)	

写 真 (縦4cm×横3cm)  上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること
--

----- 切りはなさないこと -----

令和7年10月入学 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程入学試験

受 験 票 [外国人留学生入試 (春期募集)]

受験番号	※
氏 名	
志 望 専 攻	総合生産科学専攻
志 望 コース・分野	
【環境レジリエンス 分野 (工学系) のみ】 専門知識 (1科目選択)	

写 真 (縦4cm×横3cm)  上半身無帽正面向き で3ヶ月以内に撮影 したもの 写真の裏に氏名を記 入すること
--

----- 切りはなさないこと -----

令和7年10月入学 長崎大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程入学試験

検定料納付証明書貼付票 [外国人留学生入試 (春期募集)]

住 所	
氏 名	
志 望 専 攻	総合生産科学専攻
志望コース・分野	
検定料納付証明書貼付欄	



----- 切りはなさないこと -----

#### 受験上の注意事項

- (1) 試験前日の午後，工学部 1 号館ピロティ，環境科学部正面玄関または水産学部正面玄関に「試験当日の集合場所を掲示するので，試験室（集合場所）を確認すること。（ただし，入室はできない。）
- (2) 受験者は，本研究科から交付した受験票を試験当日必ず携帯すること。
- (3) 試験当日，所定の試験室（集合場所）は試験開始時刻 30 分前に解錠する。志願者は，試験開始 20 分前までに入室すること。水産生物資源分野及び海洋未来科学コース（水産系）び受験者は 10 分前までに入室のこと。（試験開始後の遅刻者は受験を認めない。）
- (4) 携帯電話等は，試験室に入る前に電源を切っておくこと。
- (5) 気象状況などを考慮して十分にゆとりをもった日程で試験に臨むこと。試験当日に台風等の自然災害が発生した場合は，試験日を延期することがある。
- (6) 原則として追試験は実施しないが，不測の事態が生じた場合，再試験を実施することがある。

----- 切りはなさないこと -----

受 験 番 号

※

## 出願資格審査申請書

年 月 日

長崎大学長 殿

ふりがな

志願者氏名

今般，貴大学大学院総合生産科学研究科博士前期課程総合生産科学専攻  
( コース 分野) に入学を志願  
するにあたり，出願資格審査を受けたく所定の書類を添えて申請します。

# 研究歴証明書

氏 名 \_\_\_\_\_

生年月日 \_\_\_\_\_

上記の者は、下記のとおり研究歴を有することを証明する。

記

在籍した機関，部局名及び身分	
研 究 期 間	年 月 日から 年 月 日まで（ 年 ヶ月）
研究題目及び研究内容等	別紙のとおり

年 月 日

機関名

職名・氏名

- ※ この証明書には，最終学校修了後の研究歴について記入すること。
- ※ この証明書は，在籍した機関の長が証明すること。

## 研究内容要旨

氏名 \_\_\_\_\_

研究題目 \_\_\_\_\_

受験番号	※
------	---

# 志望理由書

令和 年 月 日

長崎大学長 殿

志望コース  
志望分野(系) \_\_\_\_\_

ふりがな  
氏 名 \_\_\_\_\_

昭和・平成 年 月 日生

私は、貴大学大学院総合生産科学研究科（博士前期課程）に入学を希望しますので、ここに志望理由書を提出します。

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

-----

(注) 志望理由に加えて、あなたがこれまで行ってきた研究について触れるとともに、これから取り組みたい研究について書いてください。(字数の制限はないが、記入枠内におさめること。)

なお、志望にあたっては、指導予定教員と前もって連絡を取ってください。